

令和6年度 施策事前評価シート

施策責任者 所属	産業振興課			電話番号		直通	989-5516
基本目標	住みやすく働きやすい豊かなながいずみ						
政策	持続的に発展するまちの実現				施策分野	観光・交流	
施策分野 の総事業費	前年度 決算額	76,631 千円		今年度 予算額	94,203 千円		

施策の進捗状況

	成果指標名称	年度	現状値	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	単位	進捗 評価
1	観光交流客数	目標値		210	210	210	280	320	千人	B
		実績値	287	209	253	285				
2	にぎわい交流イベントの開 催数	目標値		5	7	9	15	25	回	C
		実績値	19	2	6	6				
3		目標値								
		実績値								
4		目標値								
		実績値								
				総合評価			B：順調			

事前分析

施策分野における これまでの 取り組みの概要	長泉わくわく祭りやさくらフェスタ等のイベント実施、長泉ママラッチ（タウンセールス）による情報発信、観光交流協会の運営支援、伊豆半島ジオパークの推進、ハイキングコース、案内標識等の観光施設整備、民間にぎわい交流イベントの開催支援、国内姉妹都市（長野県青木村）との交流を推進
施策分野における 背景・環境 及び抱えている課題	・伊豆半島ジオパークの構成資産である鮎壺の滝や世界かんがい施設遺産の本宿用水など町観光資源に、旅行事業者と連携して観光客誘致を進めている。コロナ禍で、イベントの中止、移動の制約により観光交流人口は減少していたが、回復傾向にある。 ・観光交流の拠点であった旧ヴァンジ彫刻庭園美術館は、県に無償譲渡され、県では有識者委員会を発足し、収益性や公益性の高い運営を議論しており、今年度中に方向性が示される予定だが、クレマチスの丘全体は現状、不透明な状況である。 ・町主催のイベントが再開し、民間イベントも再開しつつあることから、にぎわい交流イベント支援事業費補助金を創設し、伴走支援するなど新たな活動を支援しているが、主催者の育成に至っていない。 ・ハイキングコース等は、近年の異常気象により、歩行空間の減少、落石等が発生し、気軽に楽しめるコースを維持することが難しくなっている。
施策分野における 改革・改善内容 及び今後の見通し	・第3期観光交流ビジョンに基づき、友人知人を招きたくなる魅力的なまち、住み続けたいまちへと磨き上げる長泉町ならではの観光交流を推進していくため、ながいずみ観光交流協会や関係団体とも連携して取り組んでいく。 ・鮎壺公園の整備が進められており、既存観光資源と合わせて、民間イベントと連携するなど、公園内の交流施設の有効活用を含め、観光資源の活用を進めていく。 ・既存イベントの充実や下土狩駅前コワーキングスペースと連携した新たな民間イベントの開催支援としてセミナーの開催を行い、主催者となる団体等を育成やチャレンジイベントを開催するなどまちのにぎわいを創出していく。 ・静岡県新文化施設（旧ヴァンジ彫刻庭園美術館）については、策定中の利活用計画を注視し、ベルナール・ピュフェ美術館や井上靖文学館を含めたクレマチスの丘エリアの利活用について県と連携を図っていく。